

保証人の方へ

東京工業大学 学生支援課

日本学生支援機構奨学金の「返還誓約書」につきまして、奨学生からの依頼により署名・押印される場合は、下記の点にご留意願います。

なお、署名や修正・加筆は、保証人ご本人の手書きでお願いします。

### 記

1. 『借用金額』をご確認ください。
2. 『保証人』欄の印字内容が正しいか確認してください。
  - (1) 『住所』は、印鑑登録証明書と同じかどうか確認してください。  
丁目・番地が「-」(ハイフン) でつながっている場合は間違いではありません。(修正不要)
  - (2) 『氏名』の印字は、カッコ書きになっていますが、旧字体や複雑な文字の場合は、一般的な文字で印字されています。この場合は、間違いではありません。修正不要ですが、署名は印鑑登録証明書の文字でお願いします。
3. 間違いがある場合は、二重線を引き、手書きで修正の上、訂正印として二重線の上に“実印”を押してください。

修正する場合は、一部修正の場合も、当該項目全体を修正してください。

例：生年月日を昭和40年4月1日から昭和40年4月2日に訂正したい場合

(誤) 昭和40年4月~~1~~日  
2

(正) ~~昭和40年~~1~~4月1日~~  
昭和40年4月2日

4. 『署名』欄に印鑑登録証明書と同じ文字で、署名してください。  
※間違えやすい文字の例：崎、徳、恵、榮
5. 『実印』欄に、実印を鮮明に押してください。  
万一、押しなおす場合は、他の印鑑と重ならないように『実印』欄の近くに(『保証人』欄内に) 押印してください。
6. 『続柄』欄が、「その他 ( )」となっている場合は、カッコに奨学生から見た続柄を記入してください。  
(例) 大おじ(おば)、離婚した父(母)、義父(母)、知人等
7. 65歳以上の場合、または、4親等以内の親族でない場合は、別途「[様式13]返還保証書」を記入し、資産等の証明書類と合わせて提出をお願いします。  
(例外として「離婚した父(母)」も必要となります。)